

科目案内

開講科目

スキル別科目

研究を始めるにあたって
基礎になる日本語力を強
化することを目指します。

文章表現
口頭表現

アカデミック科目

専門のゼミや研究活動で
必要となる日本語力を身
に付けることを目指しま
す。

AJ ライティング
AJ リーディング
AJ プレゼンテーション

専門への入門科目

人文社会系の専門研究で
必要となる文語に関する
基礎知識を身に付けるこ
とを目指します。

古典文法入門
文語文献講読

* 「AJライティング」 「AJリーディング」 「AJプレゼンテーション」 のAJは、Academic Japaneseの略です。

科目内容

科目名	曜日 時限	担当 教員	内 容
文章表現	火4	鎌田	日本語中級レベルまでに学習した一般的な語彙や文法事項が論文・レポートではどのように表現されているかに着目し、問題演習を通して上級レベルの文章で用いる表現の習得を目指します。書きことば、和語と漢語、名詞化、ジャンルによる使い分け、長い文／複数の文、上位概念、簡潔な表現、含意・解釈、受身形、自動詞・他動詞、指示詞等を取り上げ、学術的な文章を書くための日本語表現を学びます。 (定員 15 名)
口頭表現	月2	生天目	自然でなめらかな日本語が話せること、相手や場面に応じて適切に話したり、自分の言いたいことを相手に効果的に伝えたりできるようになることを目指します。授業では、発音やアクセント、イントネーション等の音声面を練習しつつ、相手に分かりやすく自身の意見を述べたり、内容について適切に質問したりできるよう、スピーチやディスカッション等を通して適切な口頭表現を学びます。 (定員 15 名)

AJ ライティング	火3	山方	日本語で学術的な文章を書く上で必要な知識・技能を身に付けることを目指します。論文や研究計画書の構成や書き方のプロセスを理解し、論理的で明快な文章を書く練習を行います。また、読み手としての視点を意識した相互コメントや、それに基づく推敲も行います。 (定員 15 名)
AJ リーディング	火2	山方	文章の内容を正確かつ分析的に読めるようになることを目指します。様々な種類の文章に触れ、全体の情報構造や論理展開等を意識し、それに適した読み方を学びます。また、理解した内容について自分の考えをまとめたり、意見交換したりする活動を通して、効果的な読みについて考えていきます。 (定員 15 名)
AJ プレゼンテーション	金2	生天目	資料を適切に使用して発表内容を聞き手にわかりやすく説明するとともに、自然な日本語で質疑応答のやり取りができることを目指します。聞き手に内容を理解してもらうためにはどのようにしたらよいのかを考えながら、話題の選び方、話のまとめ方、資料の作成等を学びます。実際に発表資料と発表原稿を作成した後、発表、質疑応答を行い、ディスカッション、フィードバックを通して改善方法を考えます。 (定員 15 名)
古典文法入門	木3	金山	古典文法を初めて学ぶ学生を対象に、古典文法の基礎を身に付けることを目指します。古典の仮名遣いから文法の基礎（動詞、形容詞、形容動詞、助動詞、助詞等）までを体系的に学習し、現代語との違いに触れながら、文語文を読むことに慣れていきます。 (定員 15 名)
文語文献講読	木4	金山	「古典文法入門」を既に受講、あるいは基礎古典文法が既習である学生を対象に、文語体で書かれた資料（公文書、日記、書簡、説話、随筆、評論、新聞記事等）を読み、古典・古典文法・古語の知識の理解を深めることを目指します。古代（奈良時代）から近代（明治・大正時代）にかけての多様な分野の資料読解を通して、それぞれの時代の文体や表現の特徴と、その変遷を学びます。 (定員 15 名)

* 授業内容は受講者の状況によって調整しますので、変わる場合もあります。

* 市販教科書の準備については、各科目の担当教員の指示に従ってください。

* 上記の科目は、単位がない科目です。単位が必要な大学院生向けには、「日本語アカデミック・ライティング 1」（火曜3限）と「日本語アカデミック・ライティング3」（水曜4限）が開講されています。UTASでシラバス内容を確認の上、受講登録をしてください。

* 他研究科の入学試験の出願に必要な「受講証明書」の発行や「日本語学力証明書」の記入を希望する場合には、発行希望日の1か月前まで（厳守）に日本語教室にメールで申請してください。申請にあたっては、受講する日本語科目を各5回以上出席している必要があります。なお、「日本語能力証明書」では、読解力、筆記力、聴解力、会話力の4項目の記載が求められるため、受講科目数によっては申請できない場合があります。